



人と化学の未来をめざして  
マナック株式会社

CSR報告書

2013

MANAC Incorporated CSR Report 2013

65<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY



## 編集方針

本報告書は当社のCSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）活動について、「マネジメント」、「環境への取組み」、「安全衛生への取組み」、「社会との関わり」の4部構成で編集しました。

ステークホルダーの皆様に、私たちのCSRに関する考え方や取組みについて、身近に知っていただけるよう、わかり易い報告を心がけました。

### ■ 報告対象期間

2012年4月 ～ 2013年3月

### ■ 報告対象組織

マナック株式会社を対象としています。  
なお、マナックグループの概要、財務ハイライトはマナックグループ連結の数値です。

### ■ 参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」  
GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3.1版（G3.1）」

## お問い合わせ先

マナック株式会社 環境品質保証室

TEL：(084) 954-3330

FAX：(084) 953-8523

E-mail：info@manac-inc.co.jp

## CONTENTS

編集方針	1
トップメッセージ	2
マナックグループの概要	3
マネジメント	
企業理念	4
経営理念	4
中期経営計画	4
コーポレート・ガバナンス	5
内部統制	5
リスク管理	6
コンプライアンス	6
環境への取組み	
マテリアルフロー	7
環境マネジメントシステム	7
省エネルギー	8
地球温暖化防止	9
廃棄物削減	9
化学物質の排出管理	10
環境への配慮	10
安全衛生への取組み	
安全衛生管理体制の確立	11
保安・防災	12
化学物質安全・物流安全	12
社会との関わり	13



<http://www.manac-inc.co.jp>

## トップメッセージ



スペシャリティーケミカルをベースに  
社会の進化・発展に貢献します。

取締役社長  
杉之原 祥二

### 創立65周年を迎え、新たなマナックへ

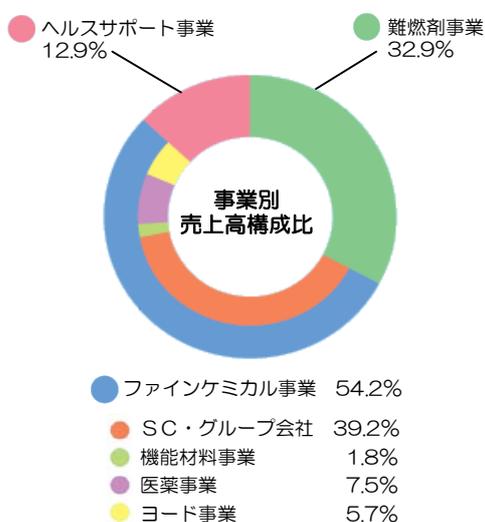
当社は、1948年に製塩業を営む松永塩業組合の姉妹会社として分離、松永化学工業株式会社としてケミカルの分野への第一歩を記しました。以降1952年に写真感光材料や試薬、1958年に臭素化合物と製造品目を拡大し、1960年には医薬品の製造許可を取得、1969年には難燃剤の生産を開始し、現在の陣容の基礎が整いました。この間1959年に大阪営業所、1968年には東京営業所を開設し、全国への販売体制を整えてまいりました。

1988年には創立40周年を機に社名をマナック株式会社へ変更、海外を視野に入れた業務の展開にも積極的に取組んでまいりました。また、2009年に八幸通商株式会社を子会社化し販売力の強化にも努めてまいりました。2000年には東京証券取引所市場第二部へ株式を上場、2011年には売上高100億円を突破いたしました。今後はグローバル市場への進出が社業の発展に不可欠であることから、昨年には海外企画開発室を設置しました。国内と海外の区別を取り払った事業展開で、グローバル企業としての新たなマナックの確立に全力で取組んでまいります。

# マナックグループの概要

## 会社概要 2013年3月31日現在

商号	マナック株式会社
設立	1948年（昭和23年）5月
従業員数	181名(グループ従業員数329名)
資本金	17億5,750万円
証券コード	4364



■ 連結

## 事業所

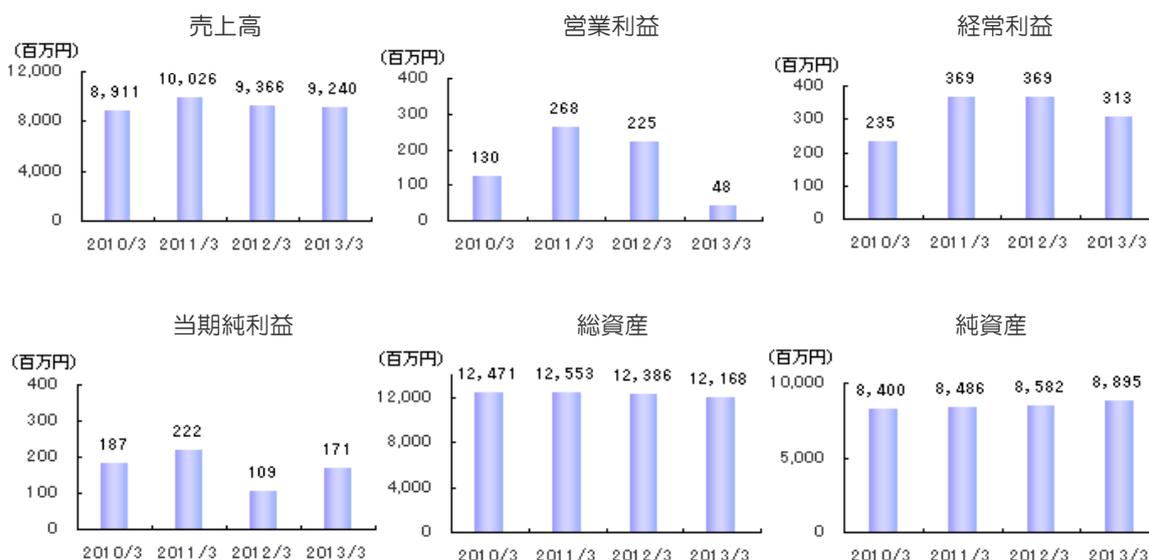
本社・福山工場	広島県福山市箕沖町92番地
東京支社	東京都中央区日本橋3丁目8番4号
大阪営業所	大阪市中央区道修町1丁目4番6号
研究所	広島県福山市箕沖町92番地
郷分事業所	広島県福山市郷分町950番地の1

## 子会社

八幸通商株式会社  
 南京八幸薬業科技有限公司  
 エムシーサービス株式会社

## 関連会社

ヨード・ファインケム株式会社



# マネジメント

## 企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』  
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

## 経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会からも注目される会社をめざし、常に『革新』

## 中期経営計画

日本では人口の減少や為替リスクの問題などから、家電メーカーや自動車関連企業をはじめ、多くの企業が生産・販売拠点を海外へシフトしています。化学業界も例外ではなく、後発国が追随しやすいモノマービジネスから、高度な技術が必要とする川下の製品開発の強化が急務となっています。当社でも原材料の入手だけでなく、研究・生産の拠点としての海外、特にアジア諸国の中でも経済成長が著しく、教育も充実し優秀な人材が育ってきた中国あるいはインドなどに注目しています。さらにこのような海外の拠点を足がかりとして、アジアで生産して欧米へ輸出するという世界的サプライチェーンを構成する重要なメンバーとして、この製品ならばマナックだという確固たる地位を築いていくことが必要です。これを実現するために、研究・開発型企業として海外での人材確保も含め、国内・海外の区分を一切取り払った国際企業としての当社の姿を「グローバル・マナック」と銘打って新経営三ヵ年計画のスローガンとして掲げています。

- ・「先を見据える」
- ・売上高から「利益を積上げる」へ
- ・国内市場＋海外から「国際市場」へ
- ・モノづくりから「売れモノづくり」へ



2013年5月17日 マナックはおかげさまで創立65年を迎えました。  
世界に通用する臭素化・ヨウ素化のコアテクノロジーで先端技術産業の高機能化に貢献し、「福山から世界へ」、マナックはグローバル・マーケットを目指します。

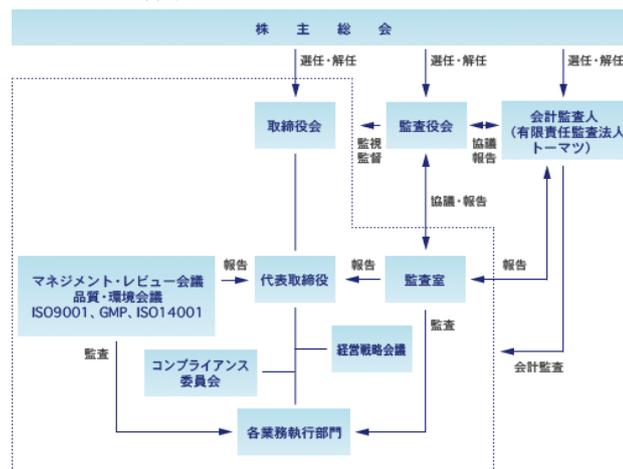
# マネジメント

## コーポレートガバナンス

### ■ 基本的な考え方

株主の皆様並びに社会に対する責任を自覚し、経営資源の最適活用を図り、長期的、継続的な株主価値の最大化を実現するとともに、社会規範に沿った事業活動を行い、コーポレート・ガバナンスを充実させていくことが経営上の最重要課題のひとつと位置付けています。

### ■ コーポレート・ガバナンス体制



## 内部統制

「業務の適正を確保するための体制」を定め、会社法に基づく内部統制システムを構築しています。また、金融商品取引法に基づく財務報告の信頼性を確保するために、有効な内部統制システムの構築と評価を行っています。

- I. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- II. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- III. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- IV. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- V. 当社及びその子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制
- VI. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- VII. 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

# マネジメント

## リスク管理

常にさまざまなリスクをあらかじめ念頭において事業活動を行っています。それらのリスクに対応するために、事前の対応と事後の措置として、各種規程を整備しており、リスクを最小限のものにするために必要な社内体制を確立しています。また、大規模地震を想定した事業継続計画（BCP）に加え、2012年12月にはインフルエンザなどのパンデミック対応の整備を行いました。



従業員携帯カード

マナック株式会社

【1】行動要領

【2】行動要領

【3】安否確認ルール

【3-1】会社への連絡方法

【3-2】家族への連絡方法

【3-3】携帯電話「災害伝言サービス」

【3-4】NTT災害伝言ダイヤル 171

会社名	電話番号	サービス	受付時間	伝言	PC-特社課から
NTT	171	災害伝言サービス	24時間	伝言	http://www.ntt.com
NTT	171	災害伝言サービス	24時間	伝言	http://www.ntt.com
NTT	171	災害伝言サービス	24時間	伝言	http://www.ntt.com

## コンプライアンス

この「企業行動憲章」に基づいた企業活動を通じて、公正で透明性のある企業を目指すとともに、当社のステークホルダーをはじめ一般社会からの確固たる信頼を確保し、企業の社会的責任を果たしていきたいと考えています。

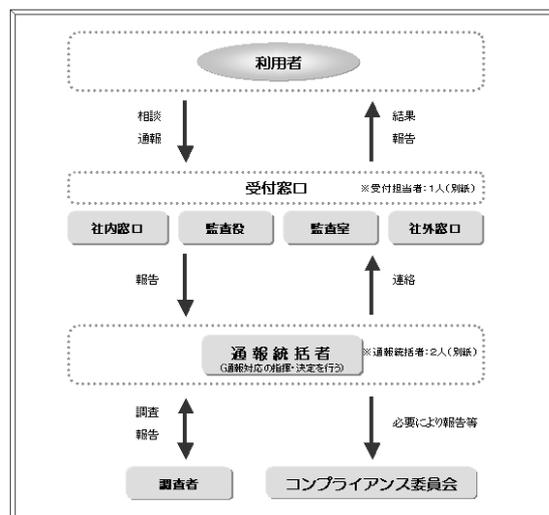
企業行動憲章

2006年7月制定  
2013年4月改訂

私たちは、スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献するためにこの企業行動憲章を定めます。私たちは、あらゆるステークホルダーとコミュニケーションを図り、社会的存在価値のある製品を提供し続けたいと考えています。

1. 私たちは、各国・地域の法令を遵守するとともに、高い倫理観をもってグローバルな事業活動を展開します。
2. 私たちは、良き企業市民として、公の秩序に従い、信義誠実な行動を行うと共に社会貢献に努めます。
3. 私たちは、会社情報を適正に管理し、適時、適切に情報開示し、公正で透明な経営を行います。
4. 私たちは、反社会的勢力とは一切の関係を断絶します。
5. 私たちは、人間の人格と人格の尊重はもとより、各国・地域の文化や慣習に配慮し、社会の発展に貢献します。
6. 私たちは、株式公開企業として、地域社会、取引先、株主、投資家、従業員との信頼と関係を大切に考えます。
7. 私たちは、環境と安全に十分配慮します。
8. 私たちは、お客様に満足して頂くため、化学技術を通じて社会に新たな価値を提供します。

## 内部通報制度

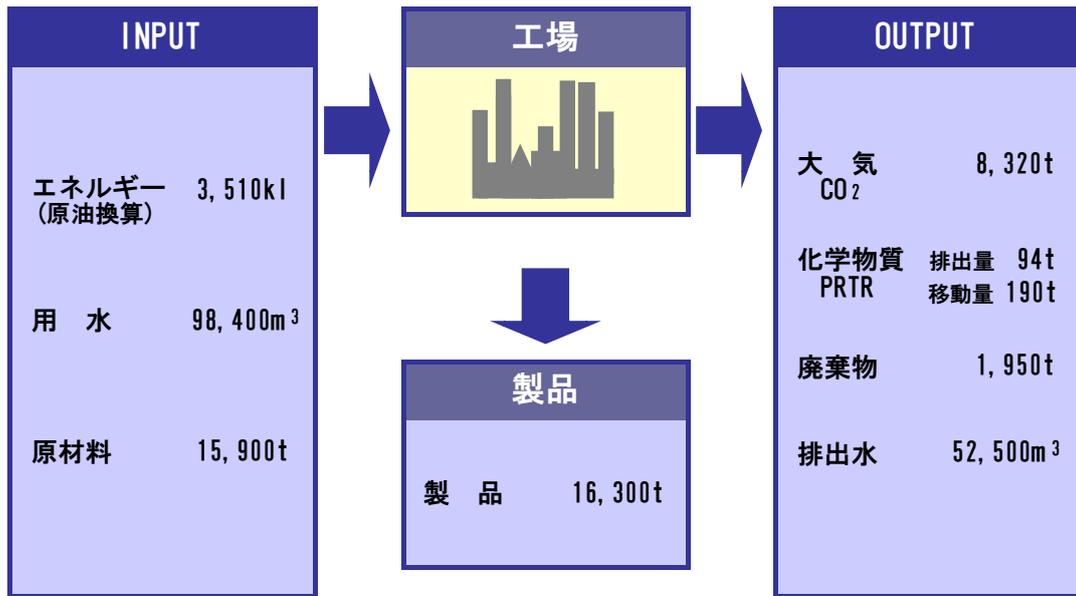


より使いやすく、信頼性もより確保される仕組みを目指して、2012年10月に内部通報制度を変更しました。

# 環境への取組み

## マテリアルフロー

事業活動に伴い消費する資源やエネルギー、廃棄物を定量的に把握し、環境負荷の低減や地球温暖化防止対策の推進を図っています。今後とも省資源、省エネルギー対策に取り組むとともに廃棄物の削減を推進していきます。



## 環境マネジメントシステム

「マナック環境方針」に沿った環境への取組み計画の策定と推進、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証取得などにより、環境保全に向けた積極的な取組みを行っています。2012年度には第3回更新審査を受審し、「適合」判定を受け、認証が更新されました。

### ■ マナック環境方針

当社は温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開してきました。この恵まれた環境を守ることも企業の使命であり、環境保全への取組みを経営の最重要課題の1つと認識し、企業活動を展開します。

1. 環境管理のための体制やシステムを確立し、その運営については定期的な見直しを行うと共に、継続的改善を図ります。
2. 環境保全に関する各種法令・協定等を順守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 生産活動等において、大気への排出の抑制と廃棄物の削減に配慮した環境目的・目標を定め、その実現を図ります。
4. 省エネルギーを中心とした温暖化防止への取組みを進めていきます。
5. 全従業員の環境に対する意識と知識の向上を図るため、積極的な教育活動を展開・推進します。



# 環境への取り組み

## 省エネルギー

### ■ エネルギー管理（省エネ）

エネルギー管理法「特定事業者」として、「第1種指定工場」で主力工場の福山工場を中心に、全社の省エネルギーを推進します。生産施設、事務・生活系での電力並びに工場の熱源ボイラー燃料〔重油から都市ガスに転換〕削減に継続して取り組んでいます。

前年度に引き続き『節電の夏』におけるデマンドの低減を最重点課題とし、同様の抑制ができました。

#### 【継続中の取り組み】

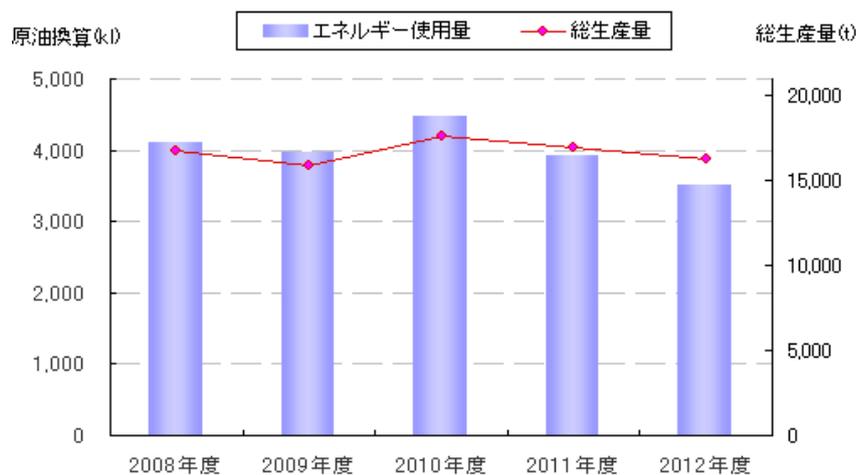
- ・ 省エネ型冷凍機、エアコン、高効率変圧器への更新
- ・ LEDの導入
- ・ 屋根の遮熱、緑のカーテン、窓の遮光等により空調の負荷ピークを緩和
- ・ クール・ビズ、ウォーム・ビズ並びに、こまめな消灯や空調停止などの節電活動
- ・ 冷凍機系の定期整備（熱交換部、冷却塔など）
- ・ 配管、トラップ、保温材などの自主保全活動



### ■ エネルギー使用量の推移

『節電の夏』に対応すべく、継続的に生産活動の時間調整を含めた電気使用の平準化を行ったこと、さらに熱（燃料）を多量使用する製品の切り替えが進みつつあることにより、2011年度、2012年度とエネルギー使用量は減少しています。

エネルギー使用量(原油換算値)



(2008年度までは福山工場のデータです。全社データは2010改正に基づき2009年度分より収集しています。)

# 環境への取組み

## 地球温暖化防止

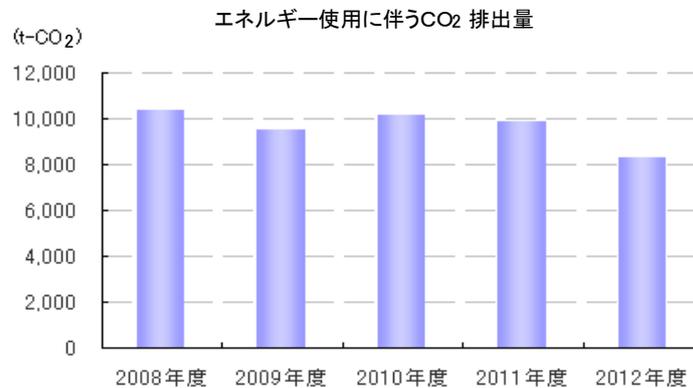
### ■ 温暖化防止

当社の温暖化ガス排出はほとんどエネルギー起因のCO<sub>2</sub>です。従って、省エネ活動はそのまま地球温暖化の防止活動となります。また、ボイラーの燃料転換（重油から都市ガスへ；2008年度）に加え、廃棄物の発生を抑制することにより委託先での温暖化ガスの低減にも寄与しています。

### ■ 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の推移

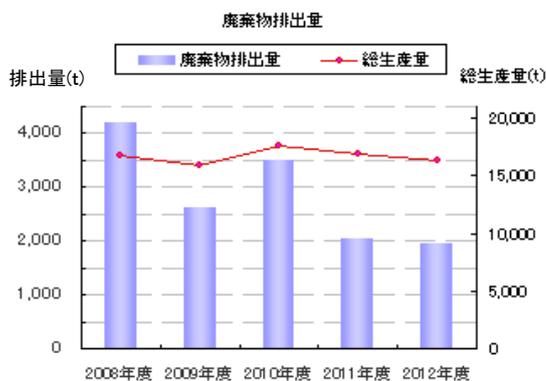
2011年度は主たる電力購入先（中国電力）の換算係数が大きく上がったため、電力起源のCO<sub>2</sub>があまり減りませんでした。2012年度はこの係数が下がり、エネルギー使用量の削減と相まって、2011年度からさらに減少しました。

（※買電のCO<sub>2</sub>換算係数は、電力各社その前年のCO<sub>2</sub>排出量実績から算定されます。中国電力では2011年度係数の基となる2010年度のCO<sub>2</sub>排出量が1990年度以降で最大でした。）



（エネルギー使用量と同様、2008年度までは福山工場のデータです。全社データは2010改正に基づき2009年度分より収集しています。）

## 廃棄物削減



### ■ 廃棄物排出量

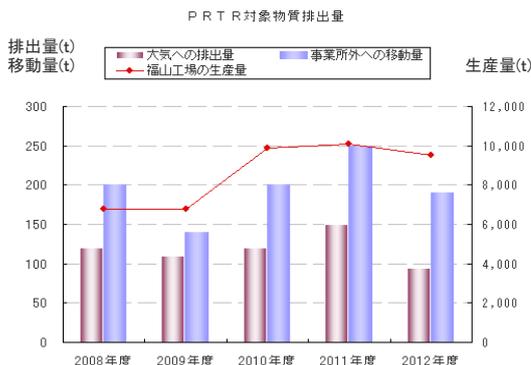
廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定められた事業者責任を果たすため、廃棄物の適正な処理に万全を期し、さらにその減量化に努めています。その中で、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進を実施し、燃料やセメント原料への再利用し、循環型社会の構築に貢献しています。

3Rとは Reduce（リデュース：発生抑制）  
 Reuse（リユース：再使用）  
 Recycle（リサイクル：再資源化）  
 の頭文字をとったものです。

# 環境への取組み

## 化学物質の排出管理

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、その対象事業所となる福山工場においては、化学物質の環境への排出量・移動量を把握しています。種々の取組みを行い、排出、移動の削減に努め、対象物質を取扱う製品の生産量あたりの排出量・移動量は減少しています。さらに、2012年度は対象物質を取扱う製品の生産数量の占める割合が減少したため、排出量・移動量も減少しました。



### ■主な実施事項

- ・ 設備 : 密閉化の推進  
冷却能力の向上
- ・ 工程 : 作業方法の改善  
除害装置の適正使用
- ・ 取扱者 : 適切な取扱方法の教育

### ※PRTRとは

[Pollutant Release and Transfer Register]  
人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質について、事業所からの環境(大気、水、土壌)への排出量及び廃棄物に含まれての事業所外への移動量を、事業者が自ら把握し国に対して届け出るとともに、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計し、公表する制度です。

## 環境への配慮

### ■環境配慮型製品「AdBlue (アドブルー)」

道路輸送の主役であるトラックのディーゼルエンジンに対する環境規制「窒素酸化物(NOx)や粒子状物質(PM)の減少」は、欧米の排出ガス規制に合わせ世界的に高度な処理技術が要求されています。この対策として、国内トラックメーカー各社は窒素酸化物(NOx)を無害な水と窒素に分解する尿素選択還元方式(SCR)を導入しており、今後とも需要は拡大する傾向にあります。

当社のAdBlueはドイツ自動車工業会(VDA)の厳しい品質規格に適合の後、ライセンスを取得し、環境配慮型製品として提供しています。



(アドブルー専用ローリー)

### ■臭素及びヨウ素の有効利用とリサイクルの推進

当社は1948年創業以来、海水の苦汁(にがり)に含まれる臭素を中心としたハロゲン化技術をコアテクノロジーに電子・情報・医療といった先端技術産業に高度な機能性化学品を供給しています。古くは苦汁の有効活用に始まり、臭素化反応から副生する臭化水素酸の有効利用とリサイクル、ヨウ素化合物からのヨウ素回収リサイクルシステムを構築し、地球環境を守りながら、資源の有効利用とリサイクルを推進しています。

### ■PCB廃棄物の処分

「PCB特別措置法」に従い、郷分事業所に高圧コンデンサー4基を長期保管しておりましたが、2013年3月に日本環境安全事業株式会社(JETOC)北九州工場へと運搬・処分委託しました。(期末時点で中間処理まで終了)

# 安全衛生への取り組み

## 安全衛生管理体制の確立

福山工場では、基本ルールの遵守と守られるルール作り、先取り安全による種々の安全衛生活動により、安全とコンプライアンスを重視した「事故・災害 ゼロ」の信頼される工場を目指し、安全第一の文化を推進しています。

### ■安全衛生管理

安全衛生管理を自主的に進め、労働災害の防止と健康増進、快適な職場環境の形成を図っています。労働災害ゼロ、職業性疾病ゼロを目指し、従業員が安全で安心して働くことができる環境を整備し、安全衛生の水準向上に努めています。

安全衛生委員会と委員会内に設けたワーキンググループにより、テーマ毎に検討を行い、安全衛生に関する活動を展開しています。

### ■主な実施事項

- ・継続的な自主的安全衛生活動  
危険に対する感受性の維持・向上活動  
「危険予知活動の実践 KYT、指差し呼称、ヒヤリ・ハット推進」
- ・ワーキンググループによるテーマ別活動の推進
- ・部署別管理の推進と定期報告
- ・ヒューマンエラー防止の継続的対応  
プロジェクトによる事例分析、原因究明、再発防止に向けた教育の取組み、社内外の講習会開催（毎月2回実施）
- ・安全衛生パトロールの実施（役員、産業医、安全管理者、衛生管理者）
- ・全国安全週間、労働衛生週間行事などの企画、実施  
衛生週間行事には「歩くことから始めよう」をキャッチフレーズにハイキングを実施
- ・5Sの推進
- ・心と身体の健康づくりと快適な職場環境づくりの推進  
メンタルヘルスクエアについては外部機関による家族を含めた”ココロの健康診断相談”窓口を2010年開設、2012年度は外部専門機関によるメンタルヘルス講習会、VTR講習などの実施
- ・産業医による健康管理、衛生の指導  
従業員への健康づくりの推進  
衛生講習会「生活習慣病予防について」開催  
「産業医による心と身体の健康相談」を毎月実施  
日常の生活改善指導により、健康への支援
- ・外部関連団体との連携など



(安全衛生パトロール)



(産業医による衛生講習)



(ハイキング)

# 安全衛生への取り組み

## 保安・防災

### ■ 防災訓練

工場では、危険物施設や薬品保管施設などでの事故発生（火災・爆発、漏洩）を想定した対応訓練を計画的に実施し、防災に関する継続的なレベルアップに努めています。2011年度には、福山地区公設消防（南署・水上署）との合同訓練を実施しました。



### ■ 避難訓練

ここ2年は、自然災害（地震、津波）想定訓練にも力を入れ、BCPIにつながる準備も総合的に進めています。

2012年度は、東南海・南海地震による3mの津波を想定した、工場内高所への避難訓練を実施しました。

### 【近年の防災訓練実施状況（福山工場）】

年月	事故想定	年月	事故想定
2009年 6月 8月 11月	薬液配管破損・漏洩 静電気火災（危険物） 薬液配管破断・漏洩	2011年 5月 11月	地震→薬液配管破損・漏洩「消防合同防災訓練」 大地震～津波時の退避訓練（近隣高台への移動）
2010年 6月 10月 11月 3月	設備破損・薬液、ガス漏洩 強い地震時の初期行動 薬液配管破損・漏洩 地震→薬液配管破損・漏洩「消防合同防災訓練」予行演習	2012年 5月 10月 11月	薬液移送ポンプ破損・漏洩 地震～津波時の退避訓練Ⅱ（場内高所への移動） 危険物火災

## 化学物質安全・物流安全

便利で快適な私たちの生活は、さまざまな化学物質に支えられていますが、これらの化学物質は多くの法令などにより規制されています。各種法令を遵守し、安全な取扱いを心掛けています。

### ■ MSDS

化学物質の性状及び取扱いなどに関する情報が記載された化学物質安全データシート（MSDS）を作成し、お客様に提供するとともに、社内の担当者にも通知し、取扱い時の注意喚起を促しています。



### ■ ラベル

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）に基づいたラベルへの対応を進めています。



### ■ イエローカード

万が一の輸送中の事故に備え、物流安全指針に沿って、運転手や消防・警察などの関係者が取るべき処置を記載した緊急連絡カード「イエローカード」を作成し、輸送中の注意喚起を促しています。



## 社会との関わり

### ■ 福山箕沖団地協議会への参加

団地内の各会員企業の連携と親睦を図るとともに、地域社会への貢献を目的として活動しています。

【環境改善対策／会員相互の啓発親睦】

- ・ 街路灯管理……定期的な保全の推進
- ・ 清掃活動……団地内一斉清掃の実施
- ・ 放浪犬対策……愛護センターと連携した保護活動の実施
- ・ 各種競技会への参加

### ■ その他地域活動への参加

- ・ 福山地区消防開催行事への参加



(消防出初式)



(団地ボウリング大会)

### ■ 美化活動

本社・福山工場では清掃日を設けて、工場に隣接する歩道などの清掃を実施しています。また、かずさ研究室では同パーク街づくり協議会の事業の一環として、かずさクリーン作戦（環境美化、ボランティア清掃）に参加し、パーク内全域のポイ捨てゴミ・不法投棄物などの収集・撤去を実施しています。



(本社・福山工場)



(かずさクリーン作戦)

### ■ おもしろワクワク化学の世界ー2012愛媛化学展ー

愛媛大学を中心に企業7社を含め16ブースが出展した、おもしろワクワク化学の世界ー2012愛媛化学展ーに当社の社員が参加いたしました。実際に小学生や幼稚園児に白衣、手袋、メガネを着用し薬品の取扱いやBZ反応実験を体験していただきました。



(実験風景)



(愛媛大学生と社員)

### ■ 福山大学・びんご地域中学高等学校連携 Science Lab (サイエンス ラボ)

本プロジェクトは中高生の理系進路志望者の増加を図ることに加え、理系進路選択領域の拡大を目標としており、当社の事業や女性研究員の役割紹介、分析化学実験などを行い、参加学生に理工系を身近に感じていただきました。



(実験風景)



(事業説明風景)

## 社会との関わり

### ■ チャレンジウィークふくやま（福山就業体験）

2012年8月 郷分事業所において近隣中学校の2年生が参加して職場体験学習を行いました。「仕事」を実際に体験し、「挨拶や礼儀の大切さ」「働くことの大切さ」「毎日働いている保護者への感謝」など、普段の学校生活では経験できない多くのことを学ばれています。



（作業風景）

（学習生）

### ■ インターンシップ

大学生が授業で学んでいる理論や知識を実際に企業内で実習、就業体験をしていただくインターンシップを受け入れています。学生の皆様が将来社会に出て自主性、独創性のある人材として、活躍していただくための研修の場として活用いただいています。



（指導風景）

（ミーティング中）

### ■ 献血活動

厚生活動の一環として、毎年秋に献血活動を実施しています。7月24日開催の献血運動推進大会にて、厚生労働大臣感謝状をいただきました。人命救援に関わる本活動は医薬品を扱う企業として社員の意識高揚とも合わせ今後とも継続していきます。



（福山工場内にて）

（感謝状）

### ■ 福山市主催環境活動への参加

従業員の意識高揚として、日常生活での環境活動として『エコでえ〜ことキャンペーン』に協賛、参加しました。

#### 【環境配慮行動コース】

- （1）マイバッグなどを利用し、レジ袋を断る。
- （2）紙ごみの拠点回収に協力する。

#### 【節電コース】

2月・3月分の使用電力量を前年同月より削減する。



